

「この街」のために。「あなた」のために。

そうこう[®]

S O U K O U



VOL 028

続・肝臓のいろは

Close-up 消化器病棟 看護師

Close-up 医療ソーシャルワーカー

News&Topics

3月

社会医療法人 壮幸会

行田総合病院

TEL : 048-552-1111



続・肝臓のいろは

消化器内科／医師・橋本良明

はじめに

肝臓は、普段その存在を意識しませんが、生きていく上でなくてはならない臓器の一つです。肝臓には痛みを感じない神経がないため、初期の段階では症状がみられません。また予備能力が高く、肝機能が半分以下でも根をあげません。痛みを感じず、よほど悪くなるまで症状が出ない、そんな「沈黙の臓器」・肝臓のことを少し考えてみましょう。(※2016年7月の「そのころ」の『肝臓のいろは』という記事も参考にしてください。)

肝臓の世界

C型肝炎の「にせ薬」が出回っているというニュースがありました。C型肝炎関連の「コマーシャルやテレビ新聞等の記事を目にする機会が増えています。背景に、副作用の少ない飲み薬だけでC型肝炎ウイルスを駆逐することが可能になったという事実があります。

B型肝炎ウイルスの駆逐はまだ不可能ですが、内服薬でウイルスの増殖を抑えることができ、血中のB型肝炎ウイルスを消せるようになりました。

脂肪肝は健康診断受診者の30%に認められるようになり、メタボリック症候群との関連でも重要な疾患です。最近では脂肪肝が関連した肝臓も増加してきています。免疫異常による自己免疫性肝炎や原発性胆汁性胆管炎

(注1)も珍しくありません。特に原発性胆汁性胆管炎は最近診る機会が増えてきています。

昔からのアルコール性肝障害も依然として存在し、肝硬変、肝臓の原因になっています。たとえ禁酒してもそれまでの飲酒による影響は長くにわたって続き、安心できません。

医師が使用する処方薬とは別に、ドラッグストアで購入可能な薬の種類が増えてきています。更に様々なサプリメント、健康食品、民間療法が巷にはあふれており、薬剤性肝障害は複雑になってきています。

肝臓病の進み方

肝疾患の原因は上記のように種々ありますが、原因が異なっても、病気の進み方は皆、似ています。肝障害により肝炎が発生すると、炎症に伴う線維化が起きます。線維化の程度が強くなり、最終的に肝硬変に進展します。肝臓を併発する場合があります。

この線維化の進行速度は、肝障害の程度に依存します。劇症肝炎のように強い炎症では数か月で肝硬変に進むこともありますし、脂肪肝のように軽度の肝障害では肝硬変に進展するのに何十年もかかる場合があります。月日がかかるため、最終的に脂肪肝の所見も消えてしまいうため、肝硬変や肝臓の原因が脂肪肝と特定できない場合もあるほどです。

ごく軽度の肝障害でも長い時間が経過すると肝硬変に至ることがあり、しかも沈黙の臓器ですから自覚症状なく病気が進行します。この状態を知るにはいくつかの方法があります。

肝臓を知ろう〜心の声〜

ALT(注2)は肝臓の代表的な酵素でこの血中濃度を測ることで、肝細胞の障害程度を知ることができます。またアルコール性肝障害の数値としても有名なγGTP(注3)もよく使われる酵素です。もともと肝硬変になるとALTもγGTPも正常値を示すことがあり、その場合、肝臓の線維化で徐々に減少していく血小板数が目安になります。

このALT・γGTP・血小板の値を見ることで、自覚症状がなくても肝臓に問題ありと知ることが出来ます。これらを私は肝臓の「心の声」と呼んでいます。(2016年7月の「そのころ」で述べた「心の声」を少し変更しています)。

肝臓を知ろう〜肝炎ウイルス検査〜

心の声(ALT・γGTP・血小板)に問題が無くても、肝炎ウイルスに感染していることがあります。感染しているかどうかを知るには肝炎ウイルス検査を受ける必

注1：原発性胆汁性胆管炎 (Primary Biliary Cholangitis) は以前、原発性胆汁性肝硬変 (Primary Biliary Cirrhosis) と呼ばれていました。略号はPBCで変わりません。

注2：ALTは以前はGPTと呼ばれていました。健康診断などで、GOT・GPTとセットで扱われますが、今はAST・ALTと現します。

注3：γGTPはガンマ・ジー・ティー・ピーと読みますが、単に「ガンマ」と省略することもあります。

「笑顔が素敵だね!」と 患者さまに言われます

行田総合病院
消化器外科・内科病棟 看護師
大久保 綾乃
2014年入職



消化器の病気は、がんなどでも早い段階であれば内視鏡での治療が可能となります。開腹手術になると侵襲も高くなります。早期発見のため、まずは定期的な検査や受診を願っています。手術前には、不安の訴えがあります。たくさん言葉をかけて、不安を和らげるように接しています。傾聴・話術についても努力中です。たわいのない話から、趣味の話、困っていることなど・・・とくに旅行の話が盛り上がります。皆さん色々な旅の思い出話をされます。私は群馬出身なので、温泉の話が鉄板です(笑)。

病棟では、一つの病室を2人で見るペアリングナース制度を実践しています。パディがいることは心強いですし、薬などもダブルチェックできるので安全です。検査が重なる時などは、他のチームが協力してくれますし、すごく仕事しやすい環境だと感じています。

術後は、早期離床してもらうことが目標です。合併症を起こさないためにもしっかりと歩いてもらうように励ましています。最近ではストーマの患者さまの入院が増えています。個々の状態にしっかりと合った装具を選択できるように、お腹の硬さとか、シワのよき方とか、人工肛門自体の大きさとかを見極められるようにこれからも勉強を続けていきます。

要があります。

肝炎ウイルス検査は基本的には一生に一回受ければよく、埼玉県は委託した医療機関(病院・診療所)で、無料の肝炎ウイルス検査を実施しています。

肝臓を知ろう〜三本の矢〜

今までの検査項目に、形態的検査である腹部エコー検査を加えると、完璧です。超音波による検査ですので体に負担をかけずに、繰り返し検査可能で、肝臓だけでなく、脾臓や胆嚢、胆管の形態異常を調べることが出来ます。

肝臓の心の声(ALT・γGTP・血小板、肝炎ウイルス検査、エコー検査。これらはひとつでは不十分、ふたつでも安心できません。肝疾患を見つけるための三本の矢と言えましょう。

とても大事なこと

ALT・γGTP・血小板は、ほとんどの健康診断に含まれます。最近では肝炎ウイルス検査やエコー検査も含まれる人間ドックも増えてきました。しかし、異常を指摘されても、疲れやすくないからほっとこうとか、アル



コール飲まないから大丈夫とか、病気が見つかるのが心配とか、前から言われているからいいや、などと、精密検査を受けない方がいらっしゃいます。これは非常に残念なことです。

健診やドックは目的ではなく、手段であり、ゴールではなくスタートです。せっかくの肝臓病を発見できるチャンス、生かしてください。

最後に



前回の『肝臓のいろは』の最期に、肝臓専門医を受診すべき5つのチェック項目を上げました。再掲します。一つでもYesとなるようでしたら、すぐにでも専門医を受診して下さい。他の医療機関に通院中であれば、紹介状(診療情報提供書)をいただくようにしましょう。

① 健診などで肝障害有りと言われていたことがあるが、精密検査をしたことがない。

② C型肝炎と言われたことがあるが、治療していない。

③ B型肝炎と言われたことがあるが、継続的な診療を受けていない。

④ アルコール性肝障害と言われて禁酒したが肝機能が良くならない。

⑤ 脂肪肝と言われて体重減らしたが肝機能が良くならない。

一人でも多く、一日でも早く、より健康的な日々が送れるようお願いいたします。

肝炎コーディネーターを知っていますか?

埼玉県では、肝炎コーディネーターという資格を設定しています。指定の研修を受けて、試験に合格すると認定されます。2017年3月現在、343名のコーディネーターが認定されています。コーディネーターは、肝臓病教室などを通して肝炎治療の重要性や検査結果の見方などについて説明を行ったり、患者さまやご家族からの日常生活上の注意事項について、相談に応じます。

当院でも昨年、15名のコーディネーターが誕生しました。看護師、薬剤師、臨床検査技師、地域連携事務、管理栄養士と職種も多岐にわたり、それぞれの立場で患者さまのサポートをしています。どうぞご期待ください。

- 当院の肝炎コーディネーター
- 看護師：斉藤高子・兎澤佳代子・伊藤和重・木村愛子・倉幸恵・瀬戸千穂里・平川恵子・矢宮奈織子 ●薬剤師：木内裕子・赤羽満美 ●臨床検査技師：庄子隼人・原誠則・富田耕平 ●管理栄養士：須藤敦子 ●事務スタッフ：須長克行



第3回 肝臓病教室開催決定! 「肝臓のいろはを知ろう」

2017年4月、第3回肝臓病教室を開催します。今回は脂肪肝に関する「いろは」について勉強します。日時、場所などの詳細は決定次第、院内掲示板・ホームページなどでお知らせいたします。地域の皆さまのご参加をお待ちしております。



第2回 肝臓病教室は新南棟受付ロビーで開催されました。

NEWS & TOPICS

2017.1-2017.2

行田消化器疾患懇話会 ホテルガーデンパレス熊谷



2017年1月11日(水)

消化器内科・消化器外科の医師が参加

消化器内科部長・高島医師の開会の挨拶にはじまり、内視鏡センター長・芹澤医師が司会を務め消化器外科・濱田医師と病理診断科部長・福島医師による『EMR後SM大腸癌で追加切除を行った例』の症例提示を行いました。その後、外科部長・川原林医師(写真右)が司会を務め、防衛大学校病院外科学講座 上野秀樹教授(写真左)による『大腸SM癌についての話題』と題した特別講演へと続きました。地域の先生方に多数ご参加いただいたことに御礼申し上げます。

新年昼礼 当院会議室



2017年1月5日(木)

新らたなる決意を胸に

お正月が開けてすぐに新南棟会議室で行われた昼礼には、約300人の職員が参加しました。理事長・常務理事・管理局長による新年の挨拶に続いて、各部署長による2017年の目標が発表されました。

第22回救急勉強会 冬場の整形疾患について



2017年1月26日(木)

2017年初の勉強会は

整形外科・小島副院長が講師を務め『冬場の整形疾患について』と題した講義を行いました。行田・県央広域・熊谷を中心とする各消防署・救急隊員の方々約30名にご参加いただきました。

節分の豆まき ひよこ保育園



2017年2月3日(金)

鬼が怖くて泣き出しちゃうひよこちゃんも ^.^

2人の保育士さんが扮した鬼が怖くて怖くて……。よく見るとお面の下に大好きな保育士さんのお顔が見えているのにわんわん泣き出してしまふひよこちゃんもいました。泣きながらも柱に隠れて「おにはそとっ! ふくはうちー!」と一生懸命に豆を投げる姿がとてもかわいらしかったです。ひよこ保育園は、季節ごとの楽しい行事が盛りだくさんです。



患者さま・ご家族との 関わりを大切に。

行田総合病院
医療ソーシャルワーカー
柳田彩花
2016年入職

医療ソーシャルワーカーとして、現在急性期病棟を担当しています。医療ソーシャルワーカー(MSW)とは、患者さまなどから寄せられるさまざまな相談に応える相談援助職のことです。私たちは、入院初日から必要に応じて患者さま・ご家族と関わっていきます。さまざまな患者さまが入院される中で、その方に合った介入や退院先の相談などを行う必要があります。そのため、より良い情報提供を行うためには制度や施設等について日々勉強をしていかないと感じています。また、あらゆる問題や悩みを解決するため、患者さま・ご家族ときちんとコミュニケーションをとるよう心がけています。

私たち医療ソーシャルワーカーは、7人体制で業務を行っています。患者さまやご家族との関係構築がうまく行かない時や退院調整が難航してしまった際、先輩からアドバイスをいただくことも多くあります。このような環境下で仕事に取り組めるため、新しい発見や学びがたくさんあります。そして、退院困難な患者さまが無事に退院できた時に、この仕事をしていて良かったと感じています。

今後も、関係者全員で切れ目のない医療・介護を続けるため、確認と調整をしていきたいと思っています。

行田総合病院からの 重要なお知らせ

患者さま・ご家族、地域の皆さまへ

2月3日に発生し、2月20日に報じられた事件につきまして。

----- テレビ・新聞・インターネット等による第一報は以下の通りでした。

群馬県太田市の医師・楢原創容疑者（36）は2月3日、非常勤の麻酔科医として手術に立ち会った埼玉県行田市の病院で、医療用の麻薬「フェンタニル」を含んだ6グラム余りの液体を不正に所持していたとして、麻薬取締法違反の疑いで逮捕されました。（原文ママ引用）

この事件に対して当院は一切関係ありません。

「行田市内の病院で」との報道により、当院でも多数のお問合せを受けました。同医師による当院への勤務（常勤・非常勤・アルバイト）は一度もないことをご報告させていただきます。

[社会医療法人社幸会]

ADVERTISING

院内・院外からの広告を受けております。

●地域医療連携室からのお知らせ

持っていて安心！『とねっと』をご存知ですか？



『とねっと』は、埼玉県利根医療圏医療推進協議会が管理・運営を行う医療機関間で診療情報を共有化する地域医療ネットワークシステムです。地域の皆さまが登録することによって、医療情報の共有、緊急時への対応、健康管理への活用に利用できます。

●お申込みは簡単（無料）

参加同意書に必要事項を記入し、医事課窓口へご提出ください。

※詳しくは地域医療連携室まで。[埼玉県利根医療圏医療推進協議会]

●行田総合病院ホームページからのお知らせ

病院の紹介動画を随時更新しています。

昨年のホームページリニューアルから、病院の紹介動画を随時更新しています。スマホ・PCなどの端末でぜひご覧ください。

●病院紹介動画コンテンツ

救急センター紹介動画・内視鏡センター紹介動画
泌尿器科紹介動画・回復期リハビリテーション病棟のご案内
医師募集動画・研修医募集動画・看護師募集動画

▶ <http://gyoda-hp.or.jp>

[社会医療法人 社幸会 行田総合病院ホームページ]

[動画制作：BLESS]

